



2023年12月3日(日)

玄岳山 (798m)

～Report by 小野寺～

「2023年クマさん会 大忘年会」の山は、熱海の玄岳。有志10名での晴天ハイクとなった。

参加>> リーダー：吉松さん

熊本さん、能勢さん、邦子さん、堀さん、池戸さん、田上さん、布目さん、中島さん、小野寺



9:10 熱海駅前に集合



9:25 ひばりが丘行きバスに乗車。
340円。SUICA/PASMOが使える。



9:45 玄岳ハイクコース入口バス停車。
バス停は角地に位置し、8名のハイカーグループも一緒に降りたので、車道に面した狭い歩道は、一時の混雑。
「玄岳」の看板を撮るだけにして、まずは移動。



住宅地を登山道に向かって上る。
結構な急坂で、お日様に照らされて上るうちに汗ばんでくる。



道々、家々の庭に癒される。



10:08 登山道入口を前に、駐車場で身づくろい。
堀さんの号令で準備体操。



10:14 出発の集合写真を撮って、いよいよ山道へと向かう。



冬季の登山は「汗をかかない」ことが肝要。クマさんを先頭に、冬陽の木漏れ日を浴びながら、ペチャクチャおしゃべりしながらゆっくり進む。



危ないところもなく整備された山道だが、一か所、道が崩れたのか歩道が30 cmくらいになっているところがあった。落ち葉で滑りやすいので、慎重に通り返ける。



竹林から雑木林を抜けると、熱海新道の跨道橋に出た。ここで小休止。

「才槌の洞」とは、昔この上に洞があり その前の大石に才槌が彫ってあったところから その名前がつけられたとの看板。



真っ青な空に、赤く色づく木々も見える。。



落ち葉をかさかさ踏んで行く。
ずーっと登り。



ヤマシロギク
(別名：白嫁菜(シロヨメナ))



旺盛なクマザサで、足元が見えず危険！



クマザサを掻き分けて進んでいくと、
ぱっと展望が開けた！

左眼下に熱海市街が一望に臨める。
海が光る。



そこから 10 分足らずで
氷ヶ池との分岐。



背丈に育ったクマザサから目をかばいながら進めば、



見事な富士山！！

12:01 登頂！



360°の眺望も、山頂は冷たい風が吹き通るので、集合写真を撮ったら即退散。



昼食が取れそうな場所を求めて下山する。



15分超下った登山道の曲がり角。
風がさえぎられ、恐らくこれまで多くの人都在这里で休憩したらしき道端の草が倒れたおあつらえのコーナーで昼食タイムとする。

能勢さん夫婦が遅れているけれど、まもなく到着するでしょうと、腰を落ち着いた者からお昼休憩とした。



堀さんは、7:00の開店を待って購入したという、おいしそうな寿司折。



ところが、待てど暮らせど、能勢さんご夫婦がやって来ない。心配したリーダー・吉松さんが引き返して探しに行く…。

クマさんが能勢さんの携帯に連絡するとつながり、どうも分岐で道を間違え、「今、引き返している」とのこと。

← そう！この岐路！



大ごとにはならず、10分足らずの遅れで、能勢さん・邦子さんが到着。

よかった、よかった。

しかし、このハプニングで、能勢さんがランチに一杯🍷と持参したワインを飲み損ねた。

13:42 落ち着く場所でもないので、ささっとランチにして、早々に下り始める。



ふわふわの落葉は気持ちいいが、岩の上に積もっているのので、隠れた石をうっかり踏むと、滑ったり動いたり、なかなか神経を使う。

才槌の洞まで戻って、あと一息！



13:42 全員無事下山。
登山口で、吉松さんがホテル行のタクシーの予約をしてくれた。



下り坂を、見事な蜜柑や山茶花の木を眺めながら、のんびり散策。
30分弱でバス停の道に到着。



14:10 過ぎにタクシー 3 台に分乗して、10分ほどで宿泊先のウオミサキホテルに到着した。